

アスクル、「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」行動宣言へ賛同

アスクル株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役社長:吉岡晃、以下「アスクル」)は11月18日、内閣府が支援する第8回「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」行動宣言賛同者ミーティングに参加し、同会の行動宣言(http://www.gender.go.jp/policy/sokushin/male_leaders/index.html)に改めて賛同しました。

■「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」行動宣言について

2014年6月、女性の活躍推進に積極的に取り組んでいる企業トップ等の男性リーダーにより「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」行動宣言が策定されました。

同行動宣言は、組織のトップを務める男性リーダーが様々な女性の意欲を高め、その持てる能力を最大限発揮できるよう、「自ら行動し、発信する」「現状を打破する」「ネットワークを進める」ことを宣言するものです。

この策定により、賛同する男性リーダーが宣言に沿って具体的な取り組みを進め、取り組みの輪を社会的に影響のある男性リーダーに広げていくことを目指しています。

行動宣言

輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会

■アスクルの女性活躍推進施策

アスクルは2014年に「ダイバーシティ推進」を設置し、2015年にはダイバーシティ宣言「Diversity for Vitality」を掲げ、アスクルグループにおけるダイバーシティ推進の積極的な取り組みをスタートしました。続く2016年には、「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」の行動宣言に賛同。女性管理職比率の目標として「2030」(2020年までに女性管理職比率30%)を宣言し、組織内の女性活躍の推進、女性管理職の登用に積極的に取り組んだ結果、女性管理職比率は2014年の12.3%から、2020年には22.1%まで大きく伸長しました。

しかしながら、「2020年までに30%」の目標達成には至らなかったため、今回改めて代表者のコミットメントとして「2530」(2025年までに女性管理職比率30%)という目標を宣言しました。

今まで活動を推進してきた中で認識している課題への対応も含め、今後は以下の施策を実行してまいります。

- ◇中期経営計画への具体的な指標として「2530」の組込み、進捗管理、公表
- ◇アンコンシャスバイアス研修、女性社員向け人材育成研修等の実施
- ◇女性管理職のキャリアを継続的に支援していくためのメンター制度の導入



アスクルは、すべての社員がワークライフバランスや育児・介護・看護などのライフステージに合わせ、多様な働き方が選択できるよう、今後も働き方改革を積極的に進めてまいります。

【関連プレスリリース】

- 2015年4月10日:アスクル、「ダイバーシティ宣言」で、企業理念の実現と企業価値の向上へ
<https://pdf.irpocket.com/C0032/Q8aV/hkbR/UysX.pdf>
- 2016年7月15日:アスクル「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」の行動宣言へ賛同
<https://pdf.irpocket.com/C0032/pTWD/ByDr/LUkb.pdf>

※本リリースに掲載の情報は、発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがございますのでご了承ください。